

令和元（2019）年度

事業報告書

自 平成 31（2019）年 4 月 1 日
至 令和 2（2020）年 3 月 31 日

公益財団法人九州盲導犬協会

福岡県糸島市東 702 番地 1

1. 盲導犬育成事業について

(1) 視覚障害者に対する盲導犬貸与と生活訓練等の実施について

- ①令和元年度の盲導犬無償貸与頭数は 8 頭
代替 4 頭（佐賀県 1、熊本県 1、沖縄県 2）、新規 4 頭（福岡県 2、山口県 2）
- ②盲導犬累計貸与数は 256 頭（タンデムを含む貸与者数 264 名）
- ③令和 2 年 3 月末現在の実働盲導犬 50 頭（盲導犬使用者 51 名）

(2) 盲導犬使用者に対するフォローアップについて

- ①貸与後 1 年以内のフォローアップ、定期フォローアップの実施によって、盲導犬使用者の安全な歩行の確保に努めた。
- ②新型コロナウイルスの影響もあり、訪問フォローアップは 42 件に減少したが、電話フォローアップ 60 件により、ユーザーの歩行の安全をサポートした。

(3) 犬の飼育および訓練について

①繁殖について

- ・期中子犬 34 頭（出産子犬 29 頭+他協会譲受子犬 5 頭）を確保した。
- ・令和 2 年 3 月末の繁殖犬数は 16 頭（雄 6 頭、雌 10 頭）である。
- ・繁殖犬飼育委託家庭 6 件に対し、定期訪問 38 回実施した。
- ・AGBN 加盟協会と繁殖協力の維持・発展に努めた。

②パピー ウォーキングについて

- ・期中の新規飼育委託犬数は 23 頭、期末の PW 委託犬頭数は 23 頭である。
- ・期中飼育講習会 25 回、飼育家庭訪問回数 103 回を行い、飼育指導に力を注いだ。

③候補犬の訓練について

犬の稟性・健康評価と並行して期中 53 頭の盲導犬候補犬の訓練を実施した。

④盲導犬の健康管理について

- ・フォローアップや 7 歳時検診の実施を通して盲導犬の健康状態を確認して、犬の健康維持のための指導・助言を行った。
- ・福岡県をはじめ各県獣医師会及び動物病院各位のご支援・ご協力をいただき、盲導犬医療特別措置（混合ワクチン接種など）を継続実施することが出来た。

⑤繁殖犬・リタイア犬等のケアについて

- ・飼育ボランティアおよび獣医師の方々と連携して、繁殖犬及びリタイア犬の健康管理に対応した。
- ・期中の盲導犬の引退頭数は 6 頭、期末の飼育委託頭数は 36 頭である。

⑥犬舎及び健康管理について

犬舎担当職員・訓練士が協力して犬舎の衛生管理及び犬の健康管理を行い、嘱託獣医師と連携して疾病の早期発見・治療に努めた。

（4）盲導犬歩行指導員等の育成について

- ①全国盲導犬施設連合会の盲導犬訓練士試験が受験できるレベルへの技能引き上げに努めた。
- ②全国盲導犬施設連合会主催の盲導犬育成ジャパンセミナー（令和2年2月神奈川県開催）に3名、パピーーセミナー等の各種研修会に担当職員を派遣して、技術及び知識の向上に努めた。

2. 普及啓発事業について

（1）総合訓練センターにおける啓発活動について

- ①総合訓練センターにおいて、一般見学会を毎月1回（12月・3月除く）年10回開催し、年間延べ444名の見学者が来所した。一般見学会とは別に32団体702名に対する団体見学会を実施、その他のセンター来所者と合わせ約2,800名の方々に、盲導犬並びに身体障害者補助犬法について啓発活動を行うことが出来た。
- ②センターで行う盲導犬宿泊体験希望者を期中3回募集し、4名の希望者に対して宿泊訓練を実施した。うち2名が今期の新規盲導犬ユーザーとしてデビューした。

（2）盲導犬普及啓発街頭活動について

- ①PR犬ボランティアはじめ各地区ライオンズクラブほか多くの皆様の協力を頂いて、福岡市障がい者週間記念の集い、RKBラジオまつり、糸島市民まつりなど各種イベントに参加して、補助犬の受け入れの理解と普及啓発に努めた。
- ②令和元年6月開催された「バリアフリー観光推進全国フォーラム佐賀嬉野大会」嬉野市温泉料飲組合主催「第9回ほじょ犬ウエルカム宣言」イベントに参加、盲導犬同伴宿泊者の受け入れについて全面協力と補助犬ステッカーの掲示協力を頂いた。
- ③RKB毎日放送株式会社実施の「いっしょに歩こう！RKBラジオ盲導犬募金」キャンペーンでは、今年も福岡県内40郵便局に募金箱の設置をいただき、RKBラジオ盲導犬募金に多くの皆様から盲導犬育成募金（計4,219,137円）の協力をいただいた。

（3）実演・講演・体験歩行会の実施について

小中学校の視覚障害者福祉学習に講師を派遣して講演・実演回数16回を行った。また、視覚障害者の体験歩行会を期中10回実施して盲導犬を主体とした補助犬の普及啓発に努めた。

（4）広報活動について

- ①協会ホームページを使って、タイムリーな情報の発信に努めた。
- ②協会報「ハーネス九州」を福岡県共同募金会からの配分金80万円をもとに、年2回（2月、8月）計18,000部発行し、盲導犬使用者及び盲導犬受け入れへの理解や身体障害者補助犬法等に関する情報提供に努めた。

3. 関係団体協力事業について

- (1) 九州盲導犬友の会総会（7月）、九州盲導犬友の会旅行 IN 宮崎（11月）等に参加してその活動を支援した。
- (2) 全国盲導犬施設連合会、日本盲人社会福祉施設協議会、県市社会福祉協議会等の関係団体が実施した福祉事業に協力、福祉の向上に努めた。

4. その他

(1) 苦情・相談について

盲導犬使用者・ボランティア・一般市民の方からの期中 25 件の苦情・相談（内訳盲導犬使用上の相談 4 件、盲導犬受入れ拒否 8 件、盲導犬貸与相談他 13 件）に対し行政・関係団体と連携して迅速に対応した。

(2) 財政基盤の安定について

①賛助会員について

今期末の会員数は 862 件（前期比 70 件増）である。

②募金箱・盲導犬自販機について

今期末の募金箱設置先は 1,740 件（前期比△152 件）である。

今期末の盲導犬自販機設置先は 84 カ所（前期比△1）である。

(3) 施設の整備について

令和元年 7 月、糸島市水道施設利用権を申請、同月水道給水設備が竣工したので、従来の井戸水（地下水＝硬水）から、安全な糸島市上水道の利用に切り替えた。

(4) 理事会・評議員会の開催について

理事会開催年月日	主な決議事項等
令和元年 5 月 20 日	<ul style="list-style-type: none">平成 30 年度事業報告及び財務諸表等について定時評議員会の開催について盲導犬貸与審査会委員の選任について
令和元年 8 月 27 日	<ul style="list-style-type: none">施設整備計画の実施と変更について指定寄付金の受入について業務執行理事の執行状況報告について
令和元年 12 月 3 日	<ul style="list-style-type: none">2020 年度研修生募集について災害時センター施設を一時避難場所として使用する件上半期事業及び業務執行理事執行状況の報告について

令和元年 3 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> 令和 2 年度事業計画及び収支予算について 役員・評議員の報酬並びに費用に関する規程改正について 評議員会の開催について 業務執行理事の執行状況報告について
評議員会開催年月日	主な決議事項等
令和元年 6 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度事業報告及び財務諸表承認について 理事及び監事の選任について
令和 2 年 3 月 26 日	役員・評議員の報酬並びに費用に関する規程改正について

(5) 職員に関する事項について

職員在籍状況		令和 2 年 3 月 31 日現在	
部 署	職 種	正 職 員	アルバイト・パート
管理部門	管 理 ・ 事 務	※2 名	3 名
事業部門 (盲導犬育成) (普及啓発)	盲導犬歩行指導員	3 名	
	盲導犬訓練士	3 名	
	研 修 生	4 名	
	ケンネルスタッフ他		2 名
計		12 名 (前期比+2)	5 名 (前期比-1)

※2 名 (常勤理事 1 名を含む)

(6) 施設について

- ①施設（総合訓練センター）の場所；福岡県糸島市東 702 番地 1
- ②敷地面積；4,133.39 m²
- ③建物
 - ・管理棟（主な建物）
 - (構造等) 鉄筋コンクリート造 3階建て 1,479.11 m²
 - (主な設備) 事務室、食堂、厨房、男女浴室、共同訓練生宿泊室（6 室）
多目的ホール、犬用医務室、相談室、会議室、
 - ・犬舎棟
 - (構造等) 鉄筋コンクリート造 平屋建て 574.25 m²
 - (主な設備) 繁殖犬舎、第 1 犬舎、第 2 犬舎、犬具・フード倉庫、シャワー室
- ④太陽光発電設備 太陽電池出力 48 k w

事業報告の附属明細書

特に記載すべき事項はありません。